

事業所名 柿が丘学園

公表日

令和8年 3月 31日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・ 体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	12	2	・ご利用児の人数によっては、机上課題のスペースが狭く感じることもあるが、机の配置等を相談・工夫して児童が安全に課題に取り組めるよう配慮している。	・全体として基準以上のスペースはあるが、実際の活動場面によって環境設定などの工夫が必要。 ・定員いっぱいになった場合、十分な活動ペースがあるとは思えない。狭いし危険。ハード面の改善は難しいが、安全の確保のためには検討も必要だと思う。 ・お子さんの利用人数が多い日は、部屋が狭いと感じることがある。 ・基準上では適切であるが、利用人数や使用方法により狭いと感じる時がある。
	2	利用定員や子供の状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	12	2	・配置数は満たしているが、児童の動きに合わせた現場での連携は必須。 ・子どもの人数を確認しながら職員間で声を掛け合って必要な職員数を確保している。	・基準以上の配置に加え、専門職も配置している。不足感があるとすれば、量よりも質の課題として、職員の対応に係る意識や技術、連携に改善が必要と思われる ・年休を取りやすい環境は良い。しかし、その結果手不足になっている現状がある。職員配置としては適切だろうが、実際の人数を考慮すべきだと思う。 ・足りないと思うことはある。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	12	2	・児童に合わせた視覚支援を行っている。園内は内履きを着用しているが、場合によっては裸足や靴下で過ごせる環境も整える必要を感じる。 ・写真やマークなど直感的にわかりやすい表示がされている。	・施設設備に経年や老朽化の現状があるなか、構造化や配慮の工夫は常に必要と考えている。 ・ハードの面なので仕方ない。施設が古いから危険も多いし、障がいのあるお子さんが通う施設なのにお子さんの手が届く場所に鍵がある。何かあってからでは遅い。 ・経年劣化している所が数々あったり特性に合わなかったりするが、現状致し方ないため、環境を整える工夫をしている。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こどもたちの活動に合わせた空間となっているか。	12	2	・施設設備の経年劣化等の現状があるが、清潔で快適な空間になるよう全職員で努力している。 ・療育室については毎日の掃除と消毒で衛生面を保っているが、窓ガラスや桟など細かい汚れは気になる。	・管理員やバス運転手、看護師だけでは行き渡らない部分が多い。自分たちでも掃除をやりたいくらいであるがその時間もないのが悔やまれる。 ・毎日清掃をして清掃が保たれているが、児童の視線で細かなところの汚れが無い確認は必要。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	13	1	・限りある環境のなかで、個別的な対応を行っている。 ・活動の時間などを勘案しつつ、必要な時は部屋を使用することは認められているが完全に個別の空間ではない。	・パーテーションなどの活用や、個別スペースも検討してもいいと思う ・個別の目標に合わせ、適切な環境を設定し関わりたいと思う。 ・認められる環境ではあるが、安全面(閉じ込め等)の心配はあると思う。 ・個別での使用を目的に合わせてその都度認めているが、施設上常に確保することは難しい。

業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	11	3	<ul style="list-style-type: none"> ・会議やカンファレンスで共有することはできている。状況によっては、その場での判断が必要でありサイクルに沿うことが難しい時もある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日々のカンファレンスでの振り返りを有効なものにしたい。 ・上司との答え合わせ状態。「広く職員が」という意味では程遠いと思う。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	14	0	<ul style="list-style-type: none"> ・意向や意見を真摯に受け止め、業務改善につながるよう意識し対応している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・結果を見ていないので何とも言えないが、集計して回覧するだけでは意味ない。それについてどう対応しているかが問われると思う。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	11	3	<ul style="list-style-type: none"> ・日々のカンファレンスで職員間の意見交換をし、支援につなげることができている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・意見等を出しやすい職場環境が作れるよう努力したい。 ・点と点で行われているイメージ。報連相ができていないから知らない人が出ている。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	9	5	<ul style="list-style-type: none"> ・第三者委員からの評価の機会をもったり、他機関の専門職(ST)等からの助言を改善につなげるよう努力している。努力義務である第三者評価制度は、整えるべき条件が多く利用に至っていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日頃の様子を見ていただくのは良いが、業務改善にどうつなげているのか知らない。 ・外部評価については、毎年課題となっているようである。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	14	0	<ul style="list-style-type: none"> ・希望する研修を受講できる機会が多く、支援の質を高められるような学びとなっている。 ・研修受講を推奨しており、希望が叶うように調整してもらえる。今年は個々に希望する研修の機会が多く、全員で動画視聴する等全員参加の研修は少なく感じる。 ・研修案内は頻繁に来ており、機会を保障されていると思う。 ・情報は常に職員全員に周知され、希望する研修を受けられることができる。 ・外部での研修受講と園内での必要な研修の受講機会がある。 	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	13			<ul style="list-style-type: none"> ・確実に作成されているが、公表方法が不明確である。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	13	1	<ul style="list-style-type: none"> ・アセスメントを多職種で共有する機会がある。 ・アセスメントと分析の精度が上がるよう意識している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・主に保護者からの聞き取りにてアセスメントを行っている。お子さん本人からの聞き取りや意思決定を試みる必要性を感じており、手段や実行を検討していく必要があると思う。 ・客観的であるが、偏りはあると思う。

13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	13	1	<ul style="list-style-type: none"> ・個別支援会議において、担当職員の素案に対して多くの意見を得られるように進行されていると思う。 ・行動観察や実際に関わる職員が直接感じる実態と発達検査の項目を用いた客観的な評価の両側面からアセスメントできている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・時間だけがかかって、会議の意味が分からない。 ・共通理解が持てるよう配慮や工夫をしているが難しさを感じる。
14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	14	0	<ul style="list-style-type: none"> ・計画は職員間で共有している。活動によって、児童一人ひとりの目標を意識している。 ・日々の対応に追われ精一杯であるが、計画を意識した対応に努めている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・カンファレンス等を活用し、職員で確認し合っていきたい。 ・共有はされているが、結局は上司に対応を確認しながら支援に当たっている。自分の判断では行動できない職場になってしまっている。
15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	13	1	<ul style="list-style-type: none"> ・行動観察や実際に関わる職員が直接感じる実態と発達検査の項目を用いた客観的な評価の両側面からアセスメントできている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・専門職(心理士・OT)による(フォーマルな)アセスメントの評価と、保育士・児童指導員の行動観察等による見立てを統合し、共に高めていくことが求められている。 ・行えていると思うが、行う職員(作成する職員)に限られているため、偏った意見や見立てになっているのではないかと疑問はある。
16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、そのうえで、具体的な支援内容が設定されているか。	14	0	<ul style="list-style-type: none"> ・されている。保育園併用開始や就学等、お子さんご家族の状況の変化に合わせ、必要な支援内容を検討している。 ・インクルーシブの実現のため、より強化していきたいと思う。 ・児童発達支援計画の様式に「本人支援」「家族支援」「移行支援及び地域支援・地域連携」の欄を設け、目標と支援内容の設定を必須としている。 ・支援に必要な項目が網羅できるよう書式の工夫をしている。具体的な支援内容で保護者と支援者が共通認識が持てるよう努め、工夫している。 ・各項目を職員間で共有して対応や環境面の工夫を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・具体的に明記しているが、細かく書けば書くほど醜いと第三者から言われたこともある。保護者と共有するものである分、分かりやすさが大事だと思うので、作成する側としては葛藤してしてしまう。 ・確認の個人差が大きいと思われるため、心理士を中心にそのスキル向上に努めたい。
17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	12	2	<ul style="list-style-type: none"> ・行っている。構造化したプログラム進行を基本とするが、目標や実態に合わせて修正している。 ・主となる立案者以外の職員も意見を発信できる機会がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・行っているが、結局は上司の意見だと思う。過去の流れを変えにくい雰囲気もある。 ・チームで行っているが、参画者が一部の職員に限られていることが多く、残念である。

18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	11	3	<ul style="list-style-type: none"> ・活動の固定化のみならず、対応が固定化されないように心がけている。 ・児童の様子(反応、発達段階、興味関心など)を捉え、必要な時は継続(良い意味での固定化)したり、活動の段階付けを意識して変化することもある。 ・利用者に合わせ、固定化も必要であると感じている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・変化を喰えたいとも思うが、子どもたちの安定を重視した結果、固定化していたようにも思う。
19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	14	0		<ul style="list-style-type: none"> ・集団よりも個を意識した内容になっていると思う。
20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	13	1	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日必ず打ち合わせを行い、報告・連絡・相談を密にし、チームでの対応を心がけている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・行われている。打ち合わせに参加できない職員への周知、必要な情報は自分から確認する等、一人一人の意識が必要だと思う。 ・打ち合わせは行うが、役割分担できない難しさをこの職場で感じる。
21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか。	14	0	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日必ず打ち合わせを行い、次の支援につながるよう振り返りを大切にしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・共有しているが、事務的な報告の方が多い。支援の振り返りとしては、全体で話し合うためにはカンファレンスの行い方に改善が必要かと思う。
22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	13	1	<ul style="list-style-type: none"> ・特記がない場合も、その日の様子を少しでも記録に残して職員間で共有できると良い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・記録は欠かさずしているが、支援の検証や改善につながっているかという判断は難しい。記入している本人の振り返りにはなっていると思う。
23	定期的なモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	13	1		<ul style="list-style-type: none"> ・モニタリングを行っているが、相談支援とは別になっているため、適切な見直しができているとは言えない。
24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解したものが参画しているか。	13	1	<ul style="list-style-type: none"> ・会議の際には、趣旨と目的に応じて参加者を検討している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・上司の指示で出席者が決まるので、そうであると思いたい。しかし、連携会議を行う子、行わない子、その差が大きすぎて不平等さを感じる。
25	地域の保健、医療(主治医や協力医療機関等)、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	13	1	<ul style="list-style-type: none"> ・個々のニーズに応じて、適切な連携を積み重ね、さらに体制の整備や連携を深めることが重要と思われる。 ・保育、教育の関係機関との連携の機会はある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保育園については、柿が丘との今までの関係性が大きく影響している。公平な支援ができていないし、その体制が整っていないことが残念。

26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	13	1	・個々のニーズに応じた連携により情報と相互理解を重ねていく必要があると思われる。	・学校や保育によって差がありすぎる。園に出向いて支援する子もいれば、電話連絡さえできない園もある。職員同士、大人の都合で子どもの支援に差が出ていることは改善していかなければいけないと思う。 ・関係施設との情報共有は大切に行っている。良好な関係構築に努めているが、困難さも感じられ課題でもある。
27	就学等の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	14	0	・長岡市の支援ファイルであるすこやかファイルの作成支援のうえ、ファイルを使った情報共有等の移行支援を行っている。また、よりよいすこやかファイルに向けた改訂に参画している ・今までの経過については情報共有できていると思う。 ・すこやかファイルを使っての情報交換会で情報共有と相互理解を図っている。	
28～30は、センターのみ回答					
28	地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等との連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	10		・市内の他児童発達支援センター及びこども家庭センターと協力して研修会を実施している。 ・関わっているのは一部の職員に限られるが、取組としては行っている。	・必要に応じて連携を図っているが、地域全体の質の向上につながっているかどうかは不明である。
29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	9	1	・外部からの助言を受ける機会はあるが、その後の対応や振り返りについても共有する機会があると良い。	・外部研修には積極的に参加しているが、専門家や専門機関から助言を受けることは少ない。
30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	7	3	・市自立支援協議会にこども部会がないため、研修会等をとおして、他児童発達支援センター、こども家庭センター、基幹相談センターとこども部会の必要性やあり方を検討している。	
31は、事業所のみ回答					
31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	2	11	・全体での交流活動はないが、移行に向けた支援や併行利用のなかでの連携、一時保育等の勧めなど、個々のニーズや状況に応じた交流を支援している。	・一度も行ったことがない。 ・学園としては行っていない ・すごく閉鎖的であると思う。 ・必要があれば検討するが、現在交流の必要性を感じていない。

33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	13	1	<ul style="list-style-type: none"> ・送迎時や特に母子利用時に保護者とこどもの様子を一緒に確認し話をする時間を大事にしている。 ・保護者との情報共有をして、支援を行っている。 ・日頃、保護者との何気ない会話を大切にしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者との関係性によって、話をする頻度や電話を掛けるかどうかも変わってくる。偏りがあるように思う。
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	10	<ul style="list-style-type: none"> ・プログラム化はされていないが、母子(親子)通園や必要に応じた面談・相談等を通じて、家族支援を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・一度も行ったことがない。 ・保護者の困っていることや求めていることに対して、話を聞いたり情報提供したりできるよう努力したい。 ・家族のこと、夫婦のことに対しては手を出せないというスタンスが基本なのだと思う。繊細なことだからこそ慎重になるのは分かるが、
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	13	1	<ul style="list-style-type: none"> ・利用開始時の重要事項説明等の機会に、丁寧な説明に努めている。 ・入園時に個別に丁寧に説明されていると思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・支援プログラムの丁寧な説明の方法は検討したほうがいい
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	14	0	<ul style="list-style-type: none"> ・必ず、定期的に個別に面談を行い、振り返りとアセスメントなど聴き取りを大切にし、重きを置いている。 ・確実に行っている。 	
37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	14	0		
38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	13	1	<ul style="list-style-type: none"> ・必要時、迅速にかつ丁寧な相談となるよう心がけている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・人に寄るのだと思う。利用者全員はできていないと思う。公平にできるようになると良いと思う。
39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	14	0	<ul style="list-style-type: none"> ・父母の会(カキママ会)への協力・支援をできる限り行っている。きょうだいの交流機会の設定はないが、土曜日を家族支援目的に位置づけるなかで、きょうだい同士の交流を意識したり、個別の必要性の応じてきょうだいへの支援を行っている。 ・保護者同士の交流会はある。 ・柿ママの会開催時には単独利用などで協力している。きょうだいの交流については、夏季療育期間や土曜療育でその役割を担っている。 	

明等	40	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	14	0	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者から相談や問い合わせがあった際は、迅速に対応できるよう職員間で相談の場を設けている。 ・行っている。今後もしていきたい。 ・常に心がけている。 	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	13	1	<ul style="list-style-type: none"> ・月のお便りと献立表を定期的に発行している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・紙面での配布に加え、アプリケーションを使用したオンライン配信等を検討し、時代に即したサービス提供を行っていく必要がある。 ・お便りに頼っていて、HPやSNSなど最新の情報発信には欠けている。時代に合わせ検討が必要と思う。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	14	0		<ul style="list-style-type: none"> ・留意しているが、子どもが事務室に自由に出入りできるので、管理に不安は感じる。 ・留意しているが、事務室の出入り等で心配な点もある。
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	14	0	<ul style="list-style-type: none"> ・必ず、個別を意識し個々に合わせた対応や配慮となるよう意識している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・行っている。当事業所が重視している点の一つだと思うので、現状に満足することなく検討、実行していきたい。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	11	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の福祉施設と町内会の連絡会議には参加しているが、事業所への住民招待等はしていない。事業所の支援の性質上、地域とは、市内全域と考えている。 ・地域から求められれば快く応じたいが、特に必要性を感じていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・行事に招待はしていない。
非常時	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	13	1	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の協力を得ながら、毎月避難訓練を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 定期的な見直しが必要だと思う。過去に作成したままになっているものも多いと思う。以前、マニュアルの作成時期を確認する業務があり、そのように感じた。
	46	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	14	0		
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	14	0	<ul style="list-style-type: none"> ・看護師を中心に詳細に行い、職員周知に努めている。 	<ul style="list-style-type: none"> しているが、実際に関わる療育職員がしっかり把握できているとは思えない。予防接種については報告を勧めていないのではないか。
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	14	0	<ul style="list-style-type: none"> 保護者から詳細に聴き取り、看護師を中心に調理員の協力を得て、医師の指示に忠実に対応している。 	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	13	1		

時 等 の 対 応	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	12	2		<ul style="list-style-type: none"> ・緊急連絡先の優先順位を把握していない時点で、問題があると思う。 ・家族への周知はあいまいな感じがする。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	13	1	<p>その場になかった職員にもわかるように詳細に記録を残し、職員全員が回覧することで再発防止につなげている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・全案件が書物として提出しているわけではない。 ・意識的に行っている。書面とカンファレンスにて周知し、環境要因か、人的要因か等を考え再発防止に努めている。 ・着眼点はよいと思うが、形骸化していないか気になるところがある。 ・療育職員全員が研修を受けている。虐待の基準にあいまいさがあり、個人の見解・対応となっている面もある。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	14	0	<ul style="list-style-type: none"> ・報告と書面での共有は定着している。 	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	14	0	<ul style="list-style-type: none"> ・計画に記載し、保護者に説明している。 ・個別支援計画に明記し、計画説明時に説明させていた。 ・今年度より、個別支援計画に記載し、明確にしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・一律な包括同意での記載のため検討が必要。

*無回答があり、回答数に一致しない項目があります